第１６回青の國若山牧水短歌大会　入賞作品

＜青の國短歌大賞＞

おしゃべりな染井吉野を目の端で捉え静かに笑む山桜	蒔岡（まきおか）　るね	茨城県五霞町

＜一般の部　自由題＞

○最優秀賞

宮崎に黒木の姓の多々あればひむかの国はみどり豊潤	青山（あおやま）　良子（よしこ）	宮崎県宮崎市

○優秀賞

べかりけれ吾子の帰らぬ夏の夜の酒は二杯よあくがれの名の	鈴木（すずき）　鯛村（たいそん）	宮崎県宮崎市
すっぴんの飾らぬ君も大好きよナフサ不足の菓子パッケージ	高橋（たかはし）　基（はじめ）	千葉県柏市

○優良賞

手折るなら手折ってごらんとダビンチの名前冠する真紅の薔薇は	中村（なかむら）　あつ子（こ）	青森県八戸市
喘息の妹のため図書館で喘息の本探す九歳	やーくん	神奈川県小田原市
点一つ漏れたることに気が付きぬ「辿る」と直しポストに落とす	杉山（すぎやま）　太郎（たろう）	神奈川県横浜市

○佳作

玉砂利に足を挫くも厄払いこれで済んだと賽銭納め	玉井（たまい）　秀男（ひでお）	福岡県福岡市
「貧乏は不自由だなぁ」と呟いて兄は私と水切りをする	田口（たぐち）　秀造（しゅうぞう）	長崎県島原市
引きこもりの兄の遺しし新品のスニーカー五足けふゴミとなす	海野（うんの）　由美（ゆみ）	静岡県三島市
喜びも驚きもみな静かなり手話の家族の陸上大会	幸津（こうづ）　紀子（のりこ）	宮崎県木城町
日に干してもへこみ戻らぬ座布団は今でも祖母が座っているよう	細井（ほそい）　かね子（こ）	愛知県常滑市
すみませんごめんなさいと頭下げ信号なしの横断歩道	上米良（かみめら）　綾子（あやこ）	宮崎県宮崎市
「あの夏」と君に言われてどの夏も思いあたらぬ君だけの夏	岸本（きしもと）　恵美（えみ）	大分県大分市
既読だけついて言葉は来ない夜星より遠い君の気配よ	微笑亭（ほほえみてい）　さん太（た）	愛知県豊田市
合鍵を返してしまえばこの町はわたしを客と呼びて迎える	遠野（とおの）　はじめ	山口県山口市

毒舌を言い合うふたり病床で毒は薬になってるんだな　亀田　博之（かめだ　ひろゆき）　宮崎県宮崎市

孫たちの敵わぬ祖父（じいじ）の独楽まわし燕返しにほれ綱渡り　山脇　志津（やまわき　しず）　高知県高知市

Ｔの字が三つ干されてはつなつの増えた家族の空が膨らむ　稲山　博司（いなやま　ひろし）　東京都練馬区

返却の本より砂のこぼれきて誰の八月だったかを掃く　泉　諒（いずみ　りょう）　新潟県柏崎市

君は手を振り上京のバスに乗る初めて会いしときのごとくに　大津　穂波（おおつ　ほなみ）　奈良県大和郡山市

凍らせたペットボトルを首に当て鉄板の上を歩く七月　友常　甘酢（ともつね　あまず）　神奈川県横浜市

春宵（しゅんしょう）に「冷（ひや）がいいね」と言う娘「そりゃ冷（ひや）だよ」と笑って答える　中島　克己（なかしま　かつみ）　愛知県一宮市

「ぬ」と打てばきみのあだ名が一番に出てくる予測変換の魔法　星野　珠青（ほしの　たまお）　千葉県千葉市

父の背で聴いた夜神楽　高千穂の空がやたらと丸かった頃　山口　晋裕（やまぐち　あきひろ）　埼玉県さいたま市

きらきらと青かったはず美々津からお船出されたその日の海も　河野　聖子（かわの　せいこ）　宮崎県綾町

洗濯機で揺れるＴシャツはもう一度汚れるために生まれ変わる　蛇　足（だ　そく）　岡山県岡山市

＜一般の部　題詠「歌」＞

○最優秀賞

君が代を歌う観客の中に立ち霧島の口わずか動きぬ　岩切　軍典（いわきり　たけのり）　宮崎県宮崎市

○優秀賞

老びとの求めとあらば介護士の若きはさらりと軍歌もうたふ　瀬戸口　真澄（せとぐち　ますみ）　福岡県糸島市

鼻歌に鼻歌を重ね合って知る　あなた意外と私が好きね　本田　つづり（ほんだ）　愛知県春日井市

○優良賞

立ち止まり虹を見上げる老い我を歌詠む人と誰も見ていず　小畑　定弘（こばた　さだひろ）　徳島県阿南市

伝来の土地に鍬もてこんにやくを植ゑたる祖父の「歌造」とふ名　堀口　りつ子（ほりぐち　りつこ）　群馬県藤岡市

働きてただ働きて逝きし母その歌声を聞きしことなし　土井　恵子（どい　けいこ）　宮崎県三股町

○佳作

歌作りの旅の途中といふメールを閉じてわたしは草刈りにゆく　森田　アヤ子（もりた　あやこ）　山口県岩国市

見上げるとつい歌い出す庭の辺の「大きな栗の木」明日伐採す　髙﨑　佳子（たかざき　よしこ）　福岡県遠賀町

鼻歌が村田英雄なら釣果よし潮風ひき連れ父かへり来る　大重　知加子（おおしげ　ちかこ）　宮崎県宮崎市

元歌がもうわからない替え歌はひとりぐらしの長さあらわす	石田　泰生	埼玉県狭山市
卒業式であおげば尊し歌ふこと夢だったよと夜学の生徒ら	渡邉　照夫	埼玉県鴻巣市
母歌う炭坑節はあかるかり抗夫農夫と二夫に嫁ぐも	市川　登美栄	福岡県福岡市
二歳児のカエルの歌と若夫婦隣の我も輪唱に入る	神野　さかえ	愛媛県新居浜市
思ひつく歌を次つぎ大声に熊出ると聞く山を越えたり	槇島　　茂	埼玉県所沢市
ただ一人の卒業生を励まして六戸の村人校歌をうたふ	藤林　正則	北海道札幌市
四歳で別れた母に教わりし歌口ずさむ伯母百一歳	岸本　哲男	宮崎県日向市
「いい湯だなハハハン」と歌う老い母よ三人がかりで湯浴みさせれば	吉田　正美	京都府長岡京市
名も体も挿げ替えられた故郷の母校の歌をまだ歌えます	玄田　　生	神奈川県横浜市
教科書の牧水の歌をなぞるとき　坪谷の空が胸に広がる	天野　　葉	愛媛県松山市
人生が四分半の歌としてサビは何度もあっていいはず	エリー	大阪府枚方市
歌枕の川とは知らず靴脱ぎて子らは浅瀬の石を拾えり	山田　ゆり菜	富山県高岡市
旅の歌口ずさみつつ歩くうち知らない町がわたしを知りぬ	ま　き	兵庫県姫路市
亡命は祖国の歌を歌わずに生きることだと霧雨は言う	髙山　　准	秋田県秋田市
「御主人は歌が上手ね」聴いたことないと言えずに薄くうなずく	原田　　冬	福岡県福津市
相聞歌いく首かありて遠い日のわたしは今と他人のごとし	阿久津　恵美	東京都大田区
テラス席ピザのチーズを伸ばしつつワインららららら歌劇の余韻	遠藤　玲奈	東京都文京区

＜小学生の部＞

○最優秀賞

さんかんびいすにすわってきんちょうしこころがどくんきたおかあさん	笠原　穂乃花	日向市立財光寺南小学校	２年

○優秀賞

百メートルライバルに負け家帰り夜空を見たらながれ星来た	藤田　智菜	日向市立富高小学校	４年
ひょっとこのお面を作る河野さんなくなったけどひょっとこは続く	有村　咲希	日向市立富高小学校	４年

○優良賞

きれいだなきらきら星が空にうく夏の星ざにぶらさがりたい	山中　英莉	日向市立日知屋小学校	４年

たなばたにたんざく書いてねがったよもっともっとみんななかよく	田原　樹生	日向市立東郷学園	２年
目をこすりよあけとともにしゅっぱつだ海でまめあじぴちぴちはねる	三樹　良	日向市立日知屋東小学校	２年

○佳作

ぼくににてかってるメダカもくいしんぼういっぱい食べて元気いっぱい	稲田　哉大	日向市立財光寺南小学校	２年
どうせならかきやすいとこさしてよねおしりさされて蚊にもんくいう	児玉　千英	日向市立財光寺南小学校	２年
夏が来たプールに行って遊ぼうよ家に帰って花火しようよ	溝口　唯莉	日向市立財光寺南小学校	４年
雨の中しずかにねむるいもうとを見つめているよ時をわすれて	山内　智美	日向市立財光寺南小学校	５年
夏がきたみんなでおどるぼんおどりゆかたじんべえきるよみんなと	甲斐　みゆ	日向市立財光寺小学校	４年
さみしいと鳴いてくるねこかわいいねこ名前はちくわ家族のいやし	佐藤　成高	日向市立財光寺小学校	５年
飛んでくる飛行機ミサイル戦争で人がいっぱいなくなる世界	嶋田　晃三	日向市立富高小学校	４年
お絵かきがすきなわたしとおじいちゃん紙いっぱいに絵かきしりとり	黒木　愛心	日向市立富高小学校	４年
弟がこいのぼり見て「こいぼのり」言いまちがえがとてもかわいい	寺原　優真	日向市立富高小学校	４年
夏の川ウキがギュイーンとしずんでく手の平ごえの川魚では	浜田　健太郎	日向市立富高小学校	４年
風りんの鳴る音聞いてふと思う夏休みっていつまでだっけ	田邉　眞啓	日向市立日知屋小学校	６年
宿題のプリントかくすランドセルないことにして遊びに行こう	本田　希心	日向市立日知屋小学校	６年
ひまな時ねこと遊んでたのしいな夢の中でもまた遊びたい	廣田　南織	日向市立美々津小学校	６年
ブランコで影が伸びたり縮んだり平和を感じてこぎ続ける午後	檀野　愛夏	延岡市立旭小学校	５年
転校と聞いて世界が止まった日大親友が遠くへいくよ	橋口　心結	延岡市立旭小学校	５年
大空に大きなわたあめ浮かんでる私の手には小さなわたあめ	樋口　愛実	延岡市立旭小学校	６年
あみどにはいろんな虫がとまってるカミキリムシがいつもはりつく	三木　翔輝	日向市立東郷学園	５年
かぶと虫おおきいつのやとべるはねぼくにもはねがあったらいいな	岸本　侑真	日向市立日知屋東小学校	２年
公園で大きなバッタつかまえたあみかごいらんぼくは手づかみ	黒木　匠吾	日向市立日知屋東小学校	２年
バスにのるけしきがいいし風がくる気もちがいいなバスがすきだな	中村　大和	日之影町立宮水小学校	２年

＜中学生の部＞

○最優秀賞

夏祭り打ち上げ花火光ってるそれよりまぶしいオレの存在	岩倉（いわくら） 梛士（なぎと）	宮崎市立本郷中学校	２年

○優秀賞

新しい制服を着て朝日浴び石並川を今日から渡るよ	谷口（たにぐち） 遥斗（はると）	日向市立美々津中学校	１年
閉校し静かな学校淋しくて坪谷小はどうしているか	山口（やまぐち） 創大（そうた）	日向市立東郷学園	７年

○優良賞

昼休み友と笑えば息できず目が合う度にまた笑い出す	水野（みずの） 愛瑠（あいる）	日向市立東郷学園	８年
帰り道まだ青い空見上げれば他にも誰かが見上げているかな	坪坂（つぼさか） 悠成（ゆうせい）	日向市立富島中学校	２年
ザクザクとキュウリを乱切り鶏ガラとごま油で和え美味いんだこれが	本宮（もとみや） 凌（りょう）	日向市立富島中学校	２年

○佳作

猫の風呂水をかければいつもよりちっちゃくなって別猫のよう	早田（わさだ） 美優（みゆ）	都城市立庄内中学校	２年
風の音虫の音（ね）聴いて思い出すみんな案外生きてるのだと	大里（おおさと） 奏（かなで）	都城市立庄内中学校	２年
聞こえないいつもの音と聞こえてる土けずる雨テニスは休み	段（だん） 笑里（えみり）	都城市立庄内中学校	２年
夏の夜空を見上げて星を見る独自の星座を創ってみたり	中村（なかむら） 律（りつ）	宮崎市立本郷中学校	２年
君を見て顔が緩んだそのときにこれが恋だとやっと分かった	高山（たかやま） 愛梨（あいり）	宮崎日本大学中学校	２年
文化祭我は悪役はひふへほ声高らかに会場響く	中野（なかの） 堅渡（けんと）	宮崎日本大学中学校	３年
見上げれば澄んで輝く青い空夏が私を呼びはじめてる	山本（やまもと） 蒼大（そうた）	宮崎日本大学中学校	１年
幕上がり響く音楽香る墨筆を持つ手に力をこめて	田上（たがみ） 綾音（あやね）	宮崎日本大学中学校	２年
バスが好きいろんな人の思いを乗せてぐんぐん町を切り開いてく	山元（やまもと） しずく	宮崎日本大学中学校	３年
早朝に起きていくのは魚釣りだけどくるのは野良猫ばかり	原（はら） 哲春（てつはる）	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校	２年
夏の日にカランと響く氷の音一息で飲むやかんの麦茶	麻生（あそう） 悠太（ゆうた）	えびの市立真幸中学校	１年
トマトって自分を果物と思ってるでも人気がないのがかわいそうだな	阿多（あた） 潤人（ひろと）	えびの市立真幸中学校	１年
キンキンのコーラ一気にのみほせばのどの奥まで響く青空	松下（まつした） あおい	えびの市立真幸中学校	１年
野菜切る私のところかけよって「わん」と一言ほえておすわり	黒木（くろき） 結愛（ゆあ）	宮崎市立清武中学校	３年
夏休み宿題多い終わらないそのまま放置行ってまいります	南（みなみ） 煌咲（きらさ）	宮崎市立清武中学校	３年

雨の日の下駄箱だけが知っているひそかに想うあなたへのうそ	永野（ながの） 心愛（みあ）	小林市立野尻中学校	２年
入院の母を残して家に着き「おかえり」のないその日は寂しき	中山（なかやま） 楓大（ふうた）	日向市立富島中学校	２年
グラウンドまっすぐ続く僕の足跡隣に続くふざけた足跡	小池（こいけ） 寿和（としちか）	日向市立富島中学校	２年
チャイム鳴り笑顔をしまい席に着く続きはまたねと目で約束する	本田（ほんだ） 悠士（ゆうし）	日向市立富島中学校	２年
打ち掛けのメールは今も胸の中なつまつり行きませんか	新田（にった） 和也（かずや）	鵬翔中学校	３年

＜高校生の部＞

○最優秀賞

シュワシュワと弾ける泡が急き立てる僕らの夏はきっと短い	川添（かわぞえ） 心愛（ここな）	宮崎県立宮崎農業高等学校	２年

○優秀賞

牧水が歌に止（とど）めし渡し船祖母も揺られて時を越えゆく	大重（おおしげ） 雛沙（すずな）	宮崎第一高等学校	３年
おばあちゃん会うと毎回金くれるだから遊びに行きづらくなる	春木（はるき） 瑛汰（えいた）	宮崎県立富島高等学校	２年

○優良賞

夕暮れの川面に揺れる月ひとつまだ言えぬままの言葉を照らす	弓削（ゆげ） 将宗（まさむね）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
被服室静かに響くミシン音静かに焦る被服検定	和田（わだ） 聖蘭（せいら）	宮崎県立宮崎農業高等学校	２年
部活あと愛宕山から蝉の声山が泣いてるそんな気がする	長友（ながとも） 優太（ゆうた）	宮崎県立延岡高等学校	２年

○佳作

こけた頬横たわる祖父送り出す冷たい夏と戻らない熱	守山（もりやま） 妃和（ひより）	宮崎県立日南振徳高等学校	３年
雨粒がリズムみたいに落ちてきて心の中を整えていく	東久保（ひがしくぼ） 都夏紗（つかさ）	宮崎県立小林高等学校	１年
家を出て車に乗ると見えるねこと思ったらまさかのたぬき	荒殿（あらどの） 真心（まさむね）	宮崎県立小林高等学校	１年
負けてみるそんな優しさ知った日に公園の風ちょっと笑ってた	森岡（もりおか） 瑠菜（るな）	宮崎県立小林高等学校	１年
竿を立てじっと見つめる糸の先手に伝わる命の手応え	吉村（よしむら） 太成（たいせい）	宮崎県立小林高等学校	１年
理想だったＳＮＳの高校生うまくいかないリアルな私	永野（ながの） 蘭（らん）	宮崎県立小林高等学校	１年
君が言うすべての言葉嬉しくて不思議な力魔法のように	児玉（こだま） 結菜（ゆな）	宮崎県立宮崎商業高等学校	１年
自由だねそのゴロゴロを分けてくれ猫の昼寝に付き添いたい	岩切（いわきり） 美結（みゆ）	宮崎県立宮崎商業高等学校	１年
川風に先輩の背を追いかけるいつかは自分も先頭を漕ぐ	谷川（たにかわ） 晏絆（あんな）	宮崎県立宮崎商業高等学校	１年

校庭に伸びる二つの影長く夏の夕暮れ恋を隠せず	松岡（まつおか） 妃陽（ひなた）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
毛づくろい夢中になっているうちにこちらの視線に気づいて止まる	三浦（みうら） 梨咲（りさ）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
外は今激しい風が吹いている鳥も飛ぶので精一杯だ	宮崎（みやざき） 由規（よしき）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
夏の夜ひとりで夜道をとぼとぼと歩く私を夜風が励ます	島藤（しまふじ） 結心（ゆいな）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
木漏れ日をステンドグラス受け止めて古きタイルに虹をこぼす	山口（やまぐち） 日真利（ひまり）	宮崎県立宮崎商業高等学校	２年
コンビニの袋を揺らし歩く夜スイーツひとつで世界がゆるむ	大辻（おおつじ） 柚希（ゆずき）	宮崎県立宮崎商業高等学校	３年
薄紅に響くメジロの高音よ君のイヤホン外させてみる	長友（ながとも） 颯助（そうすけ）	宮崎県立宮崎商業高等学校	３年
君の住む街も同じに染まるかと茜の空にシャッターを切る	髙間（たかま） 仁香（にこ）	宮崎県立宮崎商業高等学校	３年
テスト前勉強しなきゃなのに今なぜか部室のそうじしてる	髙橋（たかはし） 結心（ゆいみ）	宮崎県立富島高等学校	２年
ＡＩにすべてを頼る現代人自分に頼れず自分見失う	上原（うえはら） 桜志郎（おうしろう）	宮崎県立日南高等学校	１年
17年甘えたままでだらだらと氷の溶けた薄いカルピス	小倉（おぐら） つかさ	宮崎県立宮崎北高等学校	３年